

METAL & WOOD RACK

メタル&ウッドラック MK-855N

取扱説明書

855N021032

保存版

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。組み立ての前に「注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。事故防止など安全のために、注意事項は必ずお守りください。お読みになられたあとは、必ず大切に保管してください。

組立上の注意

- 組み立ては平らな床の上で、床が傷つけないように段ボールや毛布等を敷いて行ってください。
- 組み立ての際は指などを挟まないように十分に注意してください。
- お客様の手の届く所に小さな部品を放置しないでください。
- 本製品はパーツを叩いて固定するため、叩いた面や連結部分の塗装がはがれる場合がございます。あらかじめご了承ください。

使用上の注意

- 耐荷重を超えて物を置かないでください。変形や破損する恐れがあります。
- ブラケットとボードはすべて使用してください。ブラケットとボードを抜いてしまうと安定性能、耐荷重性能が著しく落ちます。
- 転倒や破損の危険があるため、不安定な場所や段差のある場所には設置しないでください。
- 湿気や高温多湿の場所には設置しないでください。
- 変色や変形の原因となるため、棚板の上には濡れたものを置かないでください。
- 転倒の原因となるため、本体によりかかったり登ったりしないでください。
- じゅうたんやクッションフロアなど柔らかい床面を使用する場合、長期間の使用により設置面がへこむ場合があるので当て板を使用しての設置をおすすめします。
- 電化製品を設置する際は、設置する電化製品の取扱説明書に正しい設置してください。発熱や発火の原因となります。また設置の際は平らになるようにご注意ください。
- 天災などの不可抗力や不当な修理改造、誤った使用方法に起因する破損や中古品での購入による損害は補償いたしかねます。
- 用途以外での使用はしないでください。

製品仕様

品名	MK-855N
材質	支柱・ブラケット：スチール（粉体塗装） 脚カバー：ポリプロピレン ボード：合成樹脂化粧繊維板（塩化ビニール）
サイズ	W51×D41×H180(cm)
重量	約 15.6kg
耐荷重	ボード 1枚当たり：50kg（総耐荷重：250kg）
製造国	韓国

■輸入・販売元 株式会社ドリームウェア
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-11-6
☎ 0120-133-888 受付時間：平日10:00～18:00（土日・祝日を除く）
https://www.dreamware.jp/

商品のお問い合わせ・アフターサービスは、
お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

購入店名メモ欄

店名：

購入日：年 月 日

部品リスト すべてのパーツがそろっているか必ずご確認ください

●支柱×8本

●ブラケット（長）×10本

●ブラケット（短）×10本

●リバーシブルボード×5枚

●ジョイント金具×4本

●脚カバー×8個

●ハンマー×1本

●ご用意ください

■毛布やダンボール
床の保護のため

■軍手
けがの防止

■脚立や踏み台
最上段ブラケットの
組み立てなどに必要
に応じてご準備くだ
さい。

保管・点検上の注意

- 使用中に変形や破損が生じた場合はだちに使用を中止してください。
- 変色や塗装のはがれにつながりますので、ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの製品・薬剤は使用しないでください。
- お客様による修理および改造はしないでください。

メタル&ウッドラック組み立て動画のご紹介

メタル&ウッドラックの組み立て方を動画にてご覧になることができます。
右のQRコードを読み込むか、下記URLを入力すると組み立て動画のサイトが表示できます。
（組み立てモデル：MK-885N）
www.dreamware.jp/metal&woodrack/#how

完成図



お手入れ方法

乾いた布でふいてください。汚れがひどい場合は水拭きをした後、乾いた布でからぶきをしてください。

⚠ 組み立て前の
注意事項

・本製品はハンマーでフレームをたたき圧入させて組み立てます。床を保護せず組み立てると思わぬ傷が生じる恐れがありますので必ず床面を保護してから作業してください。
・組み立て時音がでますので、夜間の組み立ては近隣に配慮して行ってください。

A 下段の組み立て方

①支柱4本に脚カバーをはめこみます。

⚠ 脚カバーを付けたと最下段の
取り付け穴は隠れます

支柱の取り付け穴にブラケットを取り付ける際に、一番下の取り付け穴は、脚カバーで半分隠れてしまっていますので、
下から2番目以降の取り付け穴にブラケットを取り付けるようにしてください。

取付け
○
○
×

⚠ 穴の向きに注意

支柱の穴は図のように狭い方が下となります。上下逆に取り付けてしまうと他のパーツが取り付けられなくなりますのでご注意ください。
※上下を間違えて取り付けしてしまった場合、「分解の方法」をご参照ください。

広い
上
狭い
下

②①の支柱2本に印に沿ってブラケット（短）を取り付けます。

支柱の裏側に
ブラケットを
取り付けます。

矢印の位置を
均等に叩く

取り付けしたブラケットの両端をハンマーで均等に叩きます。

2セットつくる

③②で組み立てた2セットの間に
ブラケット（長）を取り付けます。

矢印の位置を
均等に叩く

ブラケットの取り付け方

支柱の穴の広い方にブラケットのツメをかけ、ハンマーで左右均等に叩き、ツメの穴の狭い方にしっかりとはまり込むようにしてください。

ブラケットのツメ

しっかりとめ込む

隙間があいている

片方しか入っていない

ブラケットの
取り付け方向について

ブラケット（長）とブラケット（短）は上下どちらの向きに取り付けてもお使いになれます。棚受け部を下に向ければ深さのある棚に、上に向ければフラットな棚として、上下組み合わせてもお使いいただけます。

棚受け部

手前のブラケット（長）のみ棚受け部を下に向けた場合

棚受け部を下に向けた場合

棚受け部を上に向けた場合

B 上段 / 中段の組み立て方

A で作った下段の支柱先端にジョイント金具を取り付けます。

ジョイント金具の先端に残りの支柱を取り付けます。

⚠ 穴の向きに注意

内側から見たとき、2本の支柱の間が5mm程度になるまでしっかりと差し込んでください。

⚠ 注意

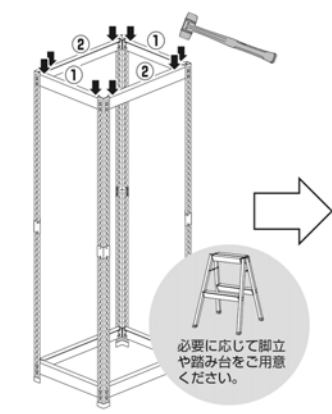
支柱先端部分が服などに引っかからないようご注意ください。

この工程はふたりでの作業をおすすめします。

一人が両手で上下の支柱を支え、一人が支柱先端をハンマーで叩くように安全に作業できます。

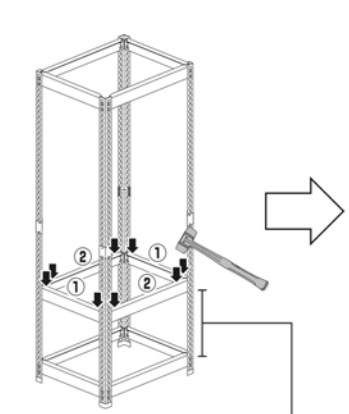
上段を取り付ける

一番上の支柱穴(2つ)に
①ブラケット(短)
②ブラケット(長)の順で取り付けます。

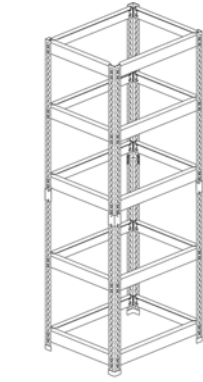


中段を取り付ける

中段を作りたい高さの支柱穴(2つ)に
① ブラケット(短)
② ブラケット(長)の順で取り付けます。



3段つくる

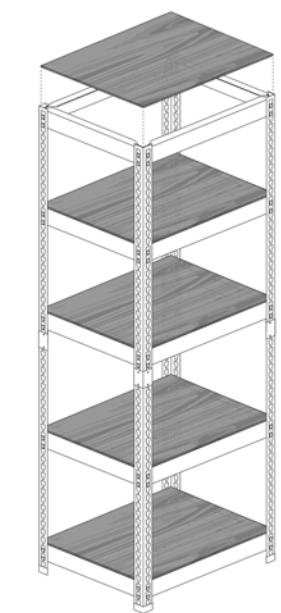


※最下部との間の取付け穴は、
10個以上あけてください。

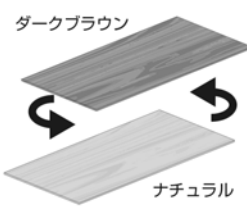
⚠ 最上段の棚を組み立てる際は、必ずブラケットの棚受けを上向きにして、フラットな棚にしてください。

ボードを取り付ける

各段の上からボードをのせ、四隅を押し込み
しっかりとはめこみます。最後に全体の歪み・
がたつきがないかを確認して完成です。

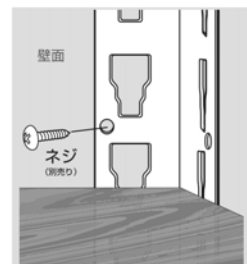


リバーシブルボードについて



ボードはダークブラウンとナチュラル
のリバーシブルとなっていますので、
インテリアや好みに合わせてお使い
ください。

転倒対策用ネジ穴について



支柱にある穴は転倒対策のねじ止め
用としてご使用いただけます。
ご家庭の壁面素材に合わせたネジで
直接ねじ止めしてください。
(ネジは別途ご準備ください)

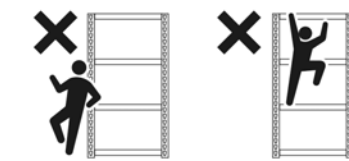
⚠ ボードがはまりにくい場合は、
四隅を均等に少しずつ押し込み
てください。板の中央部を強く
叩くと棚板が割れる恐れがあります。

使用上禁止事項

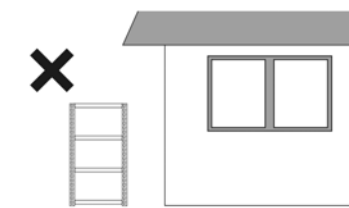
物は均等にのせること 変形や転倒の原因になります



寄りかからない・登らない 転倒の危険があり大変危険です



屋外で使わない 本製品は室内用に設計されています。
屋外で使わないでください。

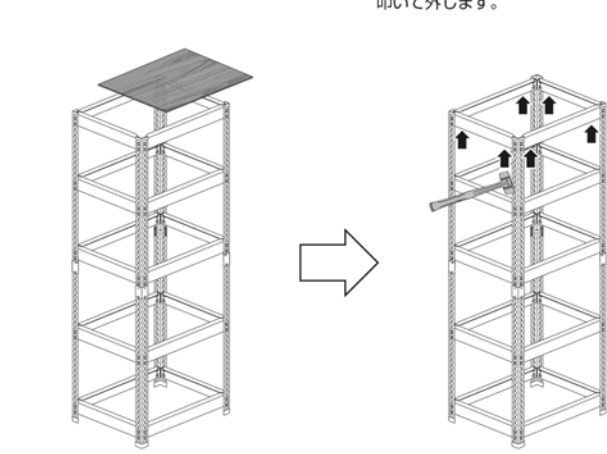


分解の方法

レイアウトの変更や解体の際はこちらの方法をご参考ください。

①置いている物や棚板をすべて外します

③ブラケットの両端を下からゴムハンマーで
叩いて外します。



ジョイント金具が外れにくい時

①ジョイント金具が残った支柱の内側に、
別の支柱を重ねます。

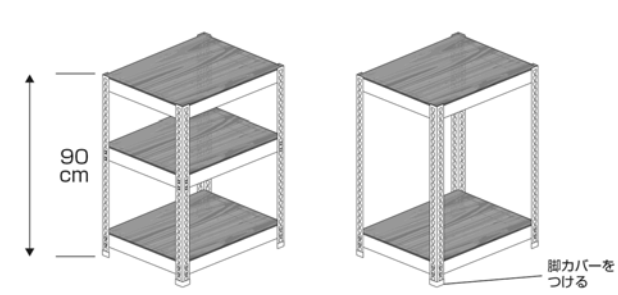


②①で重ねた支柱の先をゴムハンマー
で叩きます。

ジョイント金具の端と
支柱が接するようにする

ラックをふたつに分けて使う

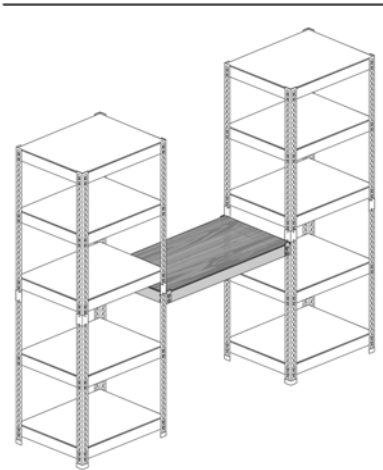
支柱8本すべてに脚力バーをつけ、ジョイント金具で連結せずに組み立てることで、
3段と2段、ふたつのローラックとして使用することも可能です。



オプションパーツ(別売り)について

製品をさらに便利にお使いいただけるオプションパーツもございます。

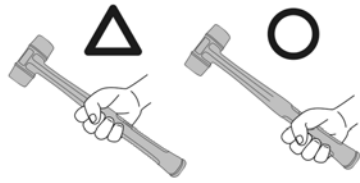
追加ボードセット(3連結用)



デスクとしても使える！

※「3連結用」オプションには、ラックが2セット必要となります。

ハンマーの使い方のコツ



左のようにハンマーの真ん中を握って叩くと力
が伝わりにくいため、右のようにグリップの先
端付近を握り、振り落すように叩いてください。
安全にご注意ください。